



# 那須地域定住自立圏 オープンデーター推進支援事業 について

那須塩原市・大田原市・那須町・那珂川町の取組みについて

オープンデーターリーダー育成研修

平成30年11月7日





©みるひい 那須塩原市

# ◎那須地域定住自立圏とは



将来像である『多自然地域と居住都市の新たな共生  
～自然を育み、魅力・活力に満ちた圏域の創出を目指  
して～』の実現に向け、特に「公共交通」、「観光」、  
「環境」の分野の事業について、圏域の大田原市・那  
須町、那珂川町と連携して取り組みを進めている。





©みるひい 那須塩原市

## ◎目的



オープンデータの利活用において、地方公共団体個々の  
サイトでの独自項目、精度、形式でデータ提供するよりも、  
複数団体がそれらを統一したデータを一か所のサイトから  
提供する方が、利用する住民、企業にとって利便性が高い  
ものになると考えられることから、那須地域定住自立圏と  
してオープンデータに取り組むこととした。





©みるひい 那須塩原市

# ◎ OpenData那須について



OpenData 那須  
那須塩原市は国定公園オープンデータスタック

データセット 編集 グループ 利用規約 検索

那須地域定住自立圏オープンデータホールへようこそ!

データ検索

CKAN 統計

154	21	22
データセット	組織	グループ

このサイトについて

このサイトは、那須塩原市定住自立圏を構成する、那須塩原市、大田原市、那須町、那珂川町の4市町村が連携するオープンデータカタログサイトです。このサイトから、那須塩原市、大田原市、那須町、那珂川市が提供するオープンデータを一元的に、機能的に検索し、必要なデータをダウンロードして利用することが出来ます。

2016年9月の段階では、那須塩原市のデータを中心に提供を開始しております。他の4市町村のデータにつきましては、順次、公開を行ってまいります。

なお、オープンデータの利用に関しては、「オープンデータ利用規約」に同意の上、御利用ください。

オープンデータとは：オープンデータとは「公開型」

人々のデータグループ

那須塩原市

那須塩原市は国定公園オープンデータスタックのグループです。

154 データセット

検索：検索するデータグループです。

97 データセット

施設案内

公共の施設に関するデータのグループです。

70 データセット

教育・文化・スポーツ・生活

学校教育、社会教育、文化・スポーツ、生活に関するデータのグループです。

26 データセット

データセット登録状況

- 那須塩原市は国定公園オープンデータスタックのグループです。イベントカレンダーを登録しました。
- 那須塩原市は国定公園オープンデータスタックのグループです。イベントカレンダーを登録しました。
- 那須塩原市は国定公園オープンデータスタックのグループです。イベントカレンダーを登録しました。
- 那須塩原市は国定公園オープンデータスタックのグループです。イベントカレンダーを登録しました。

新着情報

サイトマップ

お問い合わせ

OpenData Stack

Powered by CKAN



<http://opendata-nasu.opendatastack.jp/>





©みるひい 那須塩原市

# ◎公開までの経過



平成27年 8月 副市長を推進本部長とする情報化推進本部会議内で、オープンデータ推進に取り組むことを説明。了承を得る。

平成27年10月 入札により、オープンデータ推進に係る支援業者を決定。

平成27年12月 大田原市、那須町、那珂川町を構成自治体とする那須地域定住自立圏の取り組みとして、オープンデータ推進をテーマに挙げ、説明。了承を得る。

平成28年 3月 各課へオープンデータとして提供可能なデータの照会を実施。

平成28年 8月 カタログサイトの公開（平成28年8月19日）





## ◎オープンデータサイトの運営・管理及び費用について



- ・事業費 16,416,000円 (特別交付税措置対象)  
(内訳) 構築費 3,611,520 円  
運用費 12,804,480 円 (4年間)

費用の支払いは那須塩原市で実施。定住自立圏の中心市と構成市で措置される特別交付税の額が異なるため、その差額の範囲内に収まる限りは、那須塩原市で支払いを行っている。







©みるひい 那須塩原市

## ◎オープンデータの公開手順について



委託業者により、公式ホームページ上で公開されているデータの棚卸しを実施。棚卸しされたデータから、オープンデータ化してよいデータを各課へ確認した後、委託業者がデータの整形及びカタログサイト上へ掲載。

## ◎公開データ数について

- 公開データ数等 2 3 3 データセット

- 公開データ形式

CSV(372)、KML (130) 、GeoJSON (130) 、PDF (52) 、ical (8) 、XLS(18)、HTML(8)、DOC(2)





©みるひい 那須塩原市

## ◎策定した内部規約及び利用者へのルール設定等



【利用者向け規約等】オープンデータサイト利用規約、クレジットの表示方法

※利用者向け規約等はサイト上で公開している。

## ◎オープンデータの活用事例

現状、収集していない（利用者へ報告は義務化していない）ため具体的な事例は確認できず。

ファイルのダウンロードやデータカタログのAPIの利用状況は月次で確認はしている。







©みるひい 那須塩原市

# ◎サイトのアクセス状況

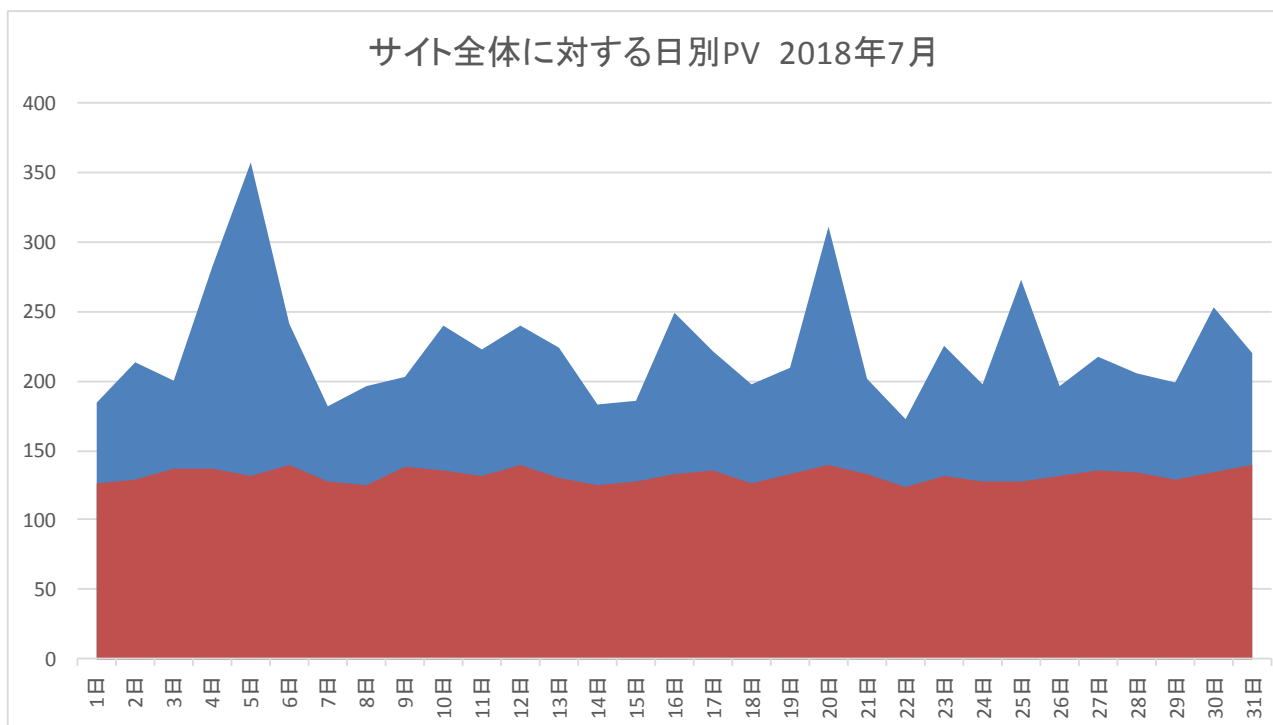


追加対象期間: 2018/7/1~2018/7/31

## オープンデータ那須 アクセス状況レポート

対象月	サイト全体のPV	トップページPV数	ユーザ数	APIアクセス	ファイルダウンロード数
201804	11,140	3,766	3,990	3,651	19
201805	7,825	3,858	4,073	1,720	18
201806	6,868	3,734	3,931	1,182	14
201807	6,905	3,815	4,031	1,007	10

サイト全体に対する日別PV 2018年7月





## ◎オープンデータの運用委託状況について

1 委託業者名 株式会社スタイルズ

2 履行期間 平成27年10月26日～平成32年3月31日

## ◎仕様書の主な内容、業者選定基準について

- ・ 那須塩原市単独での導入ではなく、那須地域定住自立圏として、四市町に導入すること。
- ・ データの棚卸し・整形・クレンジング作業などを委託業者にて行うこと。
- ・ オープンデータ推進基本方針及びオープンデータ推進計画の策定支援を行うこと。
- ・ カタログサイトの構築及び運用保守を行うこと。





©みるひい 那須塩原市

## ◎委託業務における課題や、今後の改善点等



**(現状)** 現在、データカタログサイトは運用段階に入っており、公開データの更新業務がメインになっている。県外の業者に委託しているが、メールや電話での連絡を行い、必要に応じて対面での打ち合わせも設定するという形で進めており、特に問題はおきていない。

### **(課題)**

#### (1)データの利活用

公開されたデータについて、一定のダウンロードは行われているものの、追跡可能な条件を設けていないため、誰が何に利用しているかが不明。利用者に報告義務を設けるのは、オープンデータとしての利便性を下げる可能性もあるため慎重に検討したい。

#### (2)庁内の協力体制づくり（新規データ発掘及び既存データの更新データ）

元となるデータは各課から提供してもらわなければならないため、オープンデータ的主旨を理解してもらい、積極的にデータを公開するよう協力を呼びかける。



# ◎那須塩原市の取組み

平成30年 7月3日

情報システム担当者会議においてオープンデータについて説明を実施するとともに協力を依頼。  
(出席者35名)

参考資料としてオープンデータを使用



# ◎参考資料 福島県会津若松市作成資料

【疑問】Q-2 公開データを勝手に販売されてしまったらどうするのですか？



A-2 まず、公開しているデータがそのまま販売されるというケースはほぼ無いと言えるでしょう。なかなか見つからない貴重な情報はそれだけで価値がありますが、オープンデータとして無料で手に入るような情報はそのまま販売しても価値がありません。もし販売するならば、例えば複数の情報を組み合わせ、冊子として分かりやすくまとめるなど、何かしらの付加価値をつけることが前提となります。

また、万一仮に情報がそのまま売れたとしても、「（購入者に）情報が伝わる」という意味ではメリットが発生しており、「情報を広めた」という部分に対して付加価値が認められるべきです。（購入しなければ、購入者はその情報を知りえなかったため）

そもそもモノや情報の価値は提供する側ではなく受け取る側によって変わるため、どんなものであろうと受け手側が価値を認めれば対価は支払われるべきです。その価値判断および契約は民法にもとづいて直接の販売者と購入者の間で行われるものであって、本市がそこに関わることはありません、むしろ関わるべきではありません。

例えばオークションなどで希少本が定価の数倍で取引されている場合がありますが、これは購入者がそれだけの価値を認めて販売者に正当な対価として支払うもので、この取引について著者が何らかの関わりや責任を負うことはありません。行政機関が公開するオープンデータについても同様の考え方となります。

## 要点まとめ

- ・公開している情報をただ販売される、というケースはほぼ考えられない
- ・データの販売は販売者と購入者との間でのみ成立する商行為であり、本市は一切関係しない

【疑問】Q-3 公開したデータが悪用・改ざんされる危険性はないのですか？



A-3 データの悪用・改ざんは常に起こりうるもので、オープンデータに限った問題ではありません。例えばウェブサイトなどを通してインターネット上に公開されたデータは、ダウンロードや悪用、不正コピー、改ざんなどが容易に可能であり、それらを技術的に防ぐことは非常に困難です。

また紙媒体で発信されたデータであったとしても、記載内容をマスキングして上書きしたり切り貼りすればやはり改ざん等は可能であり、本来悪用や改ざんのリスクはオープンデータでなくても常に存在しています。（むしろ「紙媒体なら絶対安心！」という考えは逆に危険です）

つまりオープンデータであるかどうかに関係なく、悪意のある利用者があれば勝手にデータを取って悪用してしまうのです。

上記のとおり、技術的に改ざん等の悪用を防ぐことはできませんが、「職員が定期的にネットや紙媒体を検索・閲覧し改ざんされた情報が出回っていないかチェックする」「悪意ある人からの発見連絡を受ける」という方法で事後対応は可能です。しかし職員負荷を考えると、前者は現実的ではありません。

正しい情報がオープンデータとして地域に広く周知されていけば、誤った情報が流通された場合でも原本（市で直接公開しているデータ）との比較がしやすくなり、悪意ある人からの改ざん情報等の発見連絡の確率が高まります。

つまりオープンデータ化によっていろいろな方の監視の目が集まることで、悪意ある人間の行動が顕著しやすくなり結果的に改ざん等のリスク対策となるのです。

## 要点まとめ

- ・データの不適切な利用や改ざんは、オープンデータだけに発生するものではない
- ・オープンデータに限らず情報の悪用は可能であり、それを技術的に防ぐ手段はない
- ・正しいデータを広く公開することで外部の目が集まり、改ざん等のリスク対策になる



# ◎参考資料 福島県会津若松市作成資料

なお本文書は、オープンデータについてできるだけ楽しみながら理解していただけるよう、同じくオープンデータとして公開されている「ブラックジャックによろしく 無料画像素材集」を使用させていただきました。この場を借りて、著作者様に厚く御礼申し上げます。

本資料は、次の作品を二次利用して作成しております。

タイトル：ブラックジャックによろしく

著作者名：佐藤秀峰

サイト名：漫画 on web

オープンデータなのですが、一応会津若松市のご担当者様に確認したところ、「オープンデータなのでどうぞ！」と大変快く承知していただきました。

（情報政策課情報管理チームのご担当者様、ありがとうございました）







ご清聴ありがとうございました

